

私の責任と税

学校法人長崎南山学園長崎南山中学校 2年 深堀 颯太

広い世界を見てみたい。中学に入学しその思いは強くなりました。その夢を叶えるためには十分な知識とそれを得るための学びが必要です。

私の通う長崎南山中学校は長崎市の北部にあり、十七世紀から十九世紀における潜伏キリシタンの中心地で、現代においては、一九四五年八月九日長崎原爆で甚大な被害を受けた中心地として知られています。周囲には世界遺産の浦上天主堂や戦争被害を伝える慰霊碑や資料館があり、深い信仰と悲惨な歴史が共存しています。この特別な土地で私は親元を離れ神学院生として神学を学びながら中学校生活を送っているのです。

ここ数年テレビはロシアによるウクライナへの軍事侵攻のニュースを伝えます。犠牲者である子どもたちは教育以前に、安心して生活できる環境すらありません。このように世界各国で教育が受けられず、将来の選択肢すらない子どもたちがたくさんいるのです。それは遠い国のだれかの話なのかというひとつの疑問が生まれました。しかし、そうではないのです。決して他人事ではないのです。私たちがこの日本で安心して、将来に希望と選択肢を持ち平和に生活できるのは国が防衛し安全な生活を守ってくれているからです。そして、その安心のもと勉強できる環境も未来をサポートしてくれる制度も整っています。その資源は税金です。しかし、私はあまりにも整った環境の中で、その価値に気づけずにいました。

部活の終わりに勢いよく蛇口をひねり顔を洗った水の気持ち良さ、何度も通った図書館の充実した本の数。安全に通学できる整った通学路。私が積み重ねている経験のひとつひとつに税金が深く関わっているのです。

では、日本という恵まれた環境に生まれた私は「これからどう生きていくべきなのか。」「私の責任とは何か」を考えたとき、私には学ぶ責任があるという答えにたどりつきました。そして今、私は得た知識や力を基に思考力と発想力を培って、社会のためになることを考え、それを実現するために行動する勇気を持つための大切な期間を税金によって与えてもらっているのだと思います。

私は将来、広い世界を見て沢山のひとと触れあって広い視野を持ちたいと思います。そして、自分の知恵や時間を他の人の為に使える人になりたいです。私自身が人として成長できるように、また、安心して将来を描ける環境を作り出してくれる税金に感謝して日々を過ごしたいと思います。そして、これからも税に関心を持ち、学びを深め、国民の一人としてこの国の将来を担っていく大人になります。